

健康運動実践指導者およびスポーツ
指導基礎資格取得のための課程

健康運動実践指導者および スポーツ指導基礎資格取得 のための課程

健康運動実践指導者および スポーツ指導基礎資格取得のための課程

1. 健康運動実践指導者
2. スポーツ指導基礎資格（スポーツリーダー）
3. アシスタントマネージャー資格（経営学部のみ）

I 上記資格取得のための課程の履修について

1. 健康運動実践指導者

我が国では、近年健康づくりに対する国民の関心や運動による健康づくりの必要性が高まって来たことなどから、国民健康づくり対策として、「21世紀における国民健康づくり運動（健康日本21）」を開始した。この施策は、21世紀の我が国のすべての国民が健やかで心豊かに生活できる活力ある社会とするため、壮年期死亡の減少、要介護状態にならない期間の延伸および生活の質の向上を実現することをめざしている。この資格者の役割は、健康づくりのための運動の知識を有し、保健医療関係者と連携しつつ、運動プログラムをふまえて、個々人に対して運動の実践指導を行うことである。この資格者は、病院、老人福祉施設、介護保険施設、介護予防事業等で活躍している。

健康・体力づくり事業財団から認定された所定の体育系科目（ほとんどが卒業のための正規の課程に含まれる）を履修し、単位取得した者に健康運動実践指導者認定試験の受験資格が与えられる。（この資格を取得した者には、さらに健康・体力づくり事業財団の実施する講習会を受講し、修了することにより、健康運動指導士認定試験の受験資格が与えられる。）

認定科目を設置する学部・学科

学 部	学 科
経 営 学 部	マネジメント総合学科
現代政策学部	社会経済システム学科

ただし、他学部・学科の学生が当該科目を履修し、単位取得しても健康運動実践指導者認定試験の受験資格は与えられない。

健康運動実践指導者認定試験の受験資格を得るための必修科目

経営学部・現代政策学部

	本学開設科目				
	授業科目	単位数	期間	履修年次	
関 連 科 目	エアロビクス指導法実習	2	半期	1	
	水泳水中運動指導法実習	2	半期	1	
	陸上運動指導法実習	2	半期	1	
	スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ	いずれか 1つ	2	通年	1
	スポーツ科学Ⅲ・Ⅳ		2	半期	2
	トレーニング指導法実習	2	半期	1	
	体力測定評価実習	2	半期	2	
	健康づくりと運動プログラム	2	半期	1	
	運動指導の心理学的基礎	2	半期	1	
	発育・発達とスポーツ	2	半期	2	
	運動障害と予防	2	半期	2	
	運動生理学	2	半期	3	
	スポーツ栄養学	2	半期	3	
	健康管理概論	1	集中	3	
	機能的解剖学	1	集中	3	
救急処置	0.5	集中	3		

2. スポーツ指導基礎資格（スポーツリーダー）

スポーツを振興する上で指導者の必要性は、スポーツの関係者はもとより、一般市民にいたるまでのすべての国民が認めるところである。

21世紀のスポーツ振興は、「生涯スポーツ社会」の実現を目指し、国民の一人ひとりが豊かで活力のある「生活/暮らし」を目指し、生涯を通じたライフステージにおいて、自己の能力・適性・関心等に応じ、主体的にスポーツ文化を豊かに享受することのできる社会を作り上げていくことと、国民一人ひとりがスポーツに対する多様なニーズや能力に応じて主体的なスポーツ実践能力を高めていくことである。

スポーツ指導基礎資格（スポーツリーダー）資格取得のための必修科目

経営学部

	本学開設科目			
	授業科目	単位数	期間	履修年次
関 連 科 目	健康づくりと運動プログラム	2	半期	1
	運動指導の心理学的基礎	2	半期	1
	発育・発達とスポーツ	2	半期	2
	運動障害と予防	2	半期	2
	運動生理学	2	半期	3
	スポーツ栄養学	2	半期	3
	救急処置	0.5	集中	3
	スポーツ指導論Ⅰ	2	半期	3
	スポーツ指導論Ⅱ	2	半期	3

現代政策学部

	本学開設科目			
	授業科目	単位数	期間	履修年次
関 連 科 目	健康づくりと運動プログラム	2	半期	1
	運動指導の心理学的基礎	2	半期	1
	発育・発達とスポーツ	2	半期	2
	運動障害と予防	2	半期	2
	運動生理学	2	半期	3
	スポーツ栄養学	2	半期	3
	救急処置	0.5	集中	3
	スポーツ指導論A	2	半期	3
	スポーツ指導論B	2	半期	3

健康運動実践指導者 資格取得までの予定表

	1年次	2年次	3年次 ^{※2}
4月	スポーツ資格に関するガイダンス 履修申請 (1年次配当科目の履修 ^{※1})	履修申請 (1・2年次配当科目の履修 ^{※1})	履修申請 (3年次配当科目の履修, 集中講義および1,2年次で履修できなかった科目の履修 ^{※1})
5月			
6月			
7月			受験申込 (学部事務室)
8月			集中講義受講 ^{※1}
9月			
10月			受験票配布 (Web 申込用 ID 発行) 実技試験対策講座
11月			実技試験 (原則的に財団の指定日・場所にて受験)
12月			初旬 筆記試験 Web 予約申込 ^{※3} 筆記試験対策講座
1月			12～2月初旬 筆記試験 ^{※3}
2月			
3月			合格発表

※1 履修科目については、別表を参照。

※2 3年次集中講義までに、全て履修・単位取得できなかった場合は、4年次に同日程で受験することが可能。

※3 自分の希望する会場、期日、時間を選択し、予約可能。選択した日に受験 (Web からの変更も可能)。

3. アシスタントマネージャー資格

アシスタントマネージャーとは

「アシスタントマネージャー」資格は、日本スポーツ協会が主催する資格認定制度の上位資格の一つで、総合型地域スポーツクラブなどにおいて、クラブ会員が充実したクラブライフを過ごせるよう、クラブのマネジメントするための知識（クラブの経営、法的知識、リスクマネジメント、施設マネジメントなど）を習得し、クラブマネージャーの下で活動する知識を持ち合わせていることを示すマネジメント資格である。

スポーツ指導基礎資格（スポーツリーダー）必修科目と併せて、アシスタントマネージャー資格必修科目を履修することにより、アシスタントマネージャー検定試験の受験資格を得ることができる。検定試験は、4年次の12月までに受験申込を行い、2月に検定試験が実施される。

アシスタントマネージャー検定試験の受験資格を得るための必修科目

〈経営学部〉

	本学開設科目			
	授業科目	単位数	期間	履修年次
専門科目	スポーツ組織論Ⅰ	2	半期	2
	スポーツ組織論Ⅱ	2	半期	2

アシスタントマネージャー資格（AM）取得までの予定表

	4年次	卒業後
スポーツリーダー必修科目およびAM必修科目の履修、単位取得（卒業時までに単位取得が必要）	10-12月 AM検定試験申込 2月 AM検定試験① 卒業時 スポーツリーダーおよびAM講習修了証明② ※4年次後期に履修中の科目があっても受験は可能。	10月 ①AM検定試験合格 ②講習修了証明 ①+②を以て、AM認定、登録